

JCI JAPAN TOYP 2020 エントリーシート

氏名*	成瀬 悠
フリガナ*	ナルセ ハルカ
所属団体*	特定非営利活動法人ハロハロ
活動内容* (200 文字以内)	<p>人権や環境などのグローバル課題は国境を越えたパートナーシップでの解決が望まれています。多くの方は「他人事」に感じていると思います。</p> <p>「政治が悪い」などと他人事にせず、「世界と地域の困りごとを自分ごと」にする人々を増やすことで社会を変えようとしています。</p> <p>フィリピンと日本の人々と共に生活向上・教育・啓発事業に取り組み、世界と豊かさを共有する生き方を選択し行動できるグローバルな人材の育成をしています。</p>
活動カテゴリー*	<input checked="" type="checkbox"/> ビジネス・経済・起業 <input type="checkbox"/> 学術 <input type="checkbox"/> 文化 <input type="checkbox"/> 倫理・環境 <input checked="" type="checkbox"/> 青少年育成・世界平和・人権 <input checked="" type="checkbox"/> 人道支援・ボランティア <input type="checkbox"/> 科学技術 <input type="checkbox"/> 自己啓発 <input type="checkbox"/> 政治・法律 <input type="checkbox"/> 医療革新 <input type="checkbox"/> その他()
紹介者氏名 紹介者がいる方は記入	西沢 裕司
紹介者所属団体	(一社)横浜青年会議所
JCI JAPAN TOYP を どこで知りましたか？*	青年会議所会員からの推薦(横浜青年会議所)・ホームページ・フェイスブック・チラシ・メディア()・その他()
紹介理由 (200 文字以内) ※紹介者がいる方は 記載をお願い致します。	<p>フィリピンの住民や行政とパートナーシップを築き、持続的に自立できる仕組みづくりを援助することで住民達の暮らしを支えるとともに、女性の地位向上や環境問題にも効果を示しています。また、マイクロクレジット融資は成功体験として他の地域へと事業を拡大させています。世界中で豊かさを共有できる仕組みの創造を目指しながら SDGs に直結する活動を行っており、実際に成果もあげていることから JCI JAPAN TOYP 2020 に紹介致しました。</p>

顔写真*



経歴
(200 文字以内)

1981 年 11 月 千葉県生まれ
2004 年 3 月 青山学院大学文学部日本文学科卒業
2007 年 3 月 カナダ バンクーバーにワーキングホリデー滞在
2008 年 1 月 読売新聞社校閲部アシスタント(派遣職員)
2008 年 9 月 フィリピン イロイロ島の NGO LOOB ワークキャンプ参加
2008 年 10 月 NGO LOOB フェアトレード販促ボランティア開始
2009 年 7 月 個人事業ハロハロプロダクツ設立
2010 年 6 月 個人事業から NPO 任意団体ハロハロプロダクツとして活動
2012 年 12 月 特定非営利活動法人ハロハロ設立

活動PR1*
(200 文字以内)



<住民が主役となるごみの分別回収と地域環境美化事業>
フィリピンは水産業が活発な島国ですが、生活ごみのポイ捨てなどから、地域の漁師たちは近海での水産業が困難になっていました。地域行政の設備や資金と、地域住民の分別回収への理解促進が課題でした。当団体は草の根の国際交流を通し地域住民の環境美化意識を醸造し、継続的な清掃活動と分別集積、行政による定期回収と不法投棄取り締まりを可能にしました。



<環境美化活動が、女性をエンパワメント>

世界男女平等ランキング上位のフィリピンですが、貧困地域では女性が家事育児全てを任せられ、家庭内地位も低く、DV問題が後を絶ちません。

この清掃活動を通して、女性たちは地域社会とつながり、家庭内の問題を外の人々と話すことで防止啓発になるだけでなく、目に見えてきれいになる地域と、村役場や市役所などの活動評価が、女性たちの自尊心を回復しています。

活動PR2*
(200文字以内)



<実践型の環境教育で、次世代を育成>

この環境美化活動では、次世代へのグローバル教育も重視しています。

マングローブの植樹・育成、沿岸部清掃活動は、地域の教育機関と連携しまた日本の学生を巻き込む参加型学習の場として提供することで、世界につながる海の豊かさを守る国際的な視野と地域での活動力を育成し、持続可能な活動としています。

活動PR3
(200文字以内)

【1 貧困をなくそう】

- 1.1 2030年までに、現在1日1.25ドル未満で生活する人々と定義されている極度の貧困をあらゆる場所で終わらせる。
- 1.2 2030年までに、各国定義によるあらゆる次元の貧困状態にある、全ての年齢の男性、女性、子供の割合を半減させる。
- 1.4 2030年までに、貧困層及び脆弱層をはじめ、全ての男性及び女性が、基礎的サービスへのアクセス、土地及びその他の形態の財産に対する所有権と管理権限、相続財産、天然資源、適切な新技術、マイクロファイナンスを含む金融サービスに加え、経済的資源についても平等な権利を持つことができるように確保する。

(説明)

フィリピンのマニラ・セブ・ボホール国際貧困線上に生活する人々の収入向上事業をさらに活発にしていこうとしています。女性には、雑貨やアクセサリーづくりなどの手工芸事業を支援しています。男性たちも含めた地域の零細自営業者には、マイクロクレジット(少額資金融資)によるビジネス活性化支援をしています。貧困層にある人々は身分や住居を証明できないことが多く、一般的な金融サービスを利用できずに、高利貸しによりさらに貧困に陥ってしまう悪循環のリスクが高いことから、地域の組合を活性化しマイクロファイナンス的な支援を活性化することで、金融サービスをはじめとする基礎的サービスの充実をはかっています。

【4 質の高い教育をみんなに】

- 4.2 2030年までに、全ての子供が男女の区別なく、質の高い乳幼児の発達・ケア及び就学前教育にアクセスすることにより、初等教育を受ける準備が整うようにする。
- 4.7 2030年までに、持続可能な開発のための教育及び持続可能なライフスタイル、人権、男女の平等、平和及び非暴力的文化の推進、グローバル・シチズンシップ、文化多様性と文化の持続可能な開発への貢献の理解の教育を通して、全ての学習者が、持続可能な開発を促進するために必要な知識及び技能を習得できるようにする。

(説明)

マニラおよびセブの事業地で幼稚園を運営し、高まる幼児教育ニーズに応えています。また大学への奨学金制度を設け、地域の次世代リーダー育成を行なっています。さらに義務教育課程の学生たちにもインターネット学習環境を提供し、ドロップアウト抑制や進学を促進しています。地域の多様な世代が、まちづくり運動のステークホルダーとして関与することで、人権・男女平等参画・国際協力・環境についての理解を深めながらグローバル意識を醸造しています。

【5 ジェンダー平等を実現しよう】

- 5.1 あらゆる場所における全ての女性及び女兒に対するあらゆる形態の差別を撤廃する。
- 5.5 政治、経済、公共分野でのあらゆるレベルの意思決定において、完全かつ効果的な女性の参画及び平等なリーダーシップの機会を確保する。

(説明)

日本とフィリピンの事業地で、誰もが生まれ育った環境や性別などに左右されることなく、自分らしく働き生きることのできる社会づくりに挑戦しています。エシカルなライフスタイルの促進から、女性や障がいを持った人々が、リーダーシップを発揮して起業や活躍しやすい社会にします。フィリピンでも女性たちがものづくりグループをつくることで、経済的社会的自立につながっています。また、日本でフェアトレードやウェルフェアトレードなどへの理解を促進することで、理解が深まっています。

【8 働きがいも経済成長も】

- 8.3 生産活動や適切な雇用創出、起業、創造性及びイノベーションを支援する開発重視型の政策を促進するとともに、金融サービスへのアクセス改善などを通じて中小零細企業の設立や成長を奨励する。
- 8.5 2030年までに、若者や障害者を含む全ての男性及び女性の、完全かつ生産的な雇用及び働きがいのある人間らしい仕事、並びに同一労働同一賃金を達成する。

(説明)

SDGsのゴールと
ターゲット番号及び
結びつきの説明

※SDGsの取り組みをして
いる方は記載をお願い
致します。

日本とフィリピンの事業地で、エシカルなまちづくりを推進しています。
フィリピンでは主婦層に対して手工芸機会を提供し女性の副収入向上やエシカルブランドの立ち上げを支援しています。また男性や零細自営業者にはマイクロファイナンスによる奨学資金融資制度をもつ組合づくりの支援をしています。
日本では、日常の消費購入からフェアトレードやエシカルなものを選ぶことを促進する啓発活動や、日本でフェアトレードやエシカル団体のネットワークによる活動促進を通し、働きがいのある人間らしい仕事の広がり支援しています。

【10 人や国の不平等をなくそう】

10.1 2030年までに、年齢、性別、障害、人種、民族、出自、宗教、あるいは経済的地位その他の状況に関わりなく、全ての人々の能力強化及び社会的、経済的及び政治的な包含を促進する。

(説明)

地域の人々に対して、キャパシティビルディングなどのワークショップ機会を設けています。社会的に弱い立場におかれる人々とともに現状の問題を分析し、必要とする組織強化能力、リーダーシップ研修を行い、人材育成をしながら、手工芸や漁業などに関与する技術講習の場を設けて、チームと事業がともに強化発展していく形を目指しています。

【11 住み続けられるまちづくりを】

11.1 2030年までに、全ての人々の、適切、安全かつ安価な住宅及び基本的サービスへのアクセスを確保し、スラムを改善する。

11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。

(説明)

フィリピンの貧困地域の人々は、河川敷や沿岸部など安全とは言えない地域に止むを得ずスクワッターとして生活しています。彼らが、安全で安心できる生活環境に身をおけるよう、行政の協力を得ながら、沿岸部の植樹や防壁などの整備をすすめています。

また、ごみ処理場近くなどに生活する人々の衛生的で安全な生活のためにも、そこに生活する人々の意識の啓発とともに、行政や民間の協力を得たごみ処理問題にもあたっています。

【12 つくる責任つかう責任】

12.4 2020年までに、合意された国際的な枠組みに従い、製品ライフサイクルを通じ、環境上適正な化学物質や全ての廃棄物の管理を実現し、人の健康や環境への悪影響を最小化するため、化学物質や廃棄物の大気、水、土壌への放出を大幅に削減する。

12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。

12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。

(説明)

マニラで行う女性の手工芸事業では、普段は廃棄してしまうような菓子や米などの食品や飲料などのプラスチック袋の廃材を用いたアップサイクルのバッグやポーチなどの小物作りを行なっています。生産者たちへの環境への啓発になるだけでなく、日本での販売を通して、消費者への環境への意識啓発にもつながっており、プラスチック素材を使わないようにしていこうという現代の傾向につながっています。

また、セブの女性たちと行う手工芸事業では、セブで手に入る木や貝などの自然素材を活用した環境配慮型のアクセサリーづくりを行い、接続部分もボタンや麻紐で工夫し、なるべく金属を使わない自然素材で完結させるように配慮したブランドを立ち上げようとしています。こちらもつくる人々の意識を啓発するのはもちろん、消費購入する人々の責任意識を啓発しています。

セブ及びボホールで行なっている地域清掃活動では、3Rに取り組み、プラスチックごみの燃料化への連携や、堆肥化などにも挑戦しています。

【14 海の豊かさを守ろう】

14.1 2025年までに、海洋ごみや富栄養化を含む、特に陸上活動による汚染など、あらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する。

- 14.2 2020年までに、海洋及び沿岸の生態系に関する重大な悪影響を回避するため、強靱性(レジリエンス)の強化などによる持続的な管理と保護を行い、健全で生産的な海洋を実現するため、海洋及び沿岸の生態系の回復のための取組を行う。
- 14.4 水産資源を、実現可能な最短期間で少なくとも各資源の生物学的特性によって定められる最大持続生産量のレベルまで回復させるため、2020年までに、漁獲を効果的に規制し、過剰漁業や違法・無報告・無規制(IUU)漁業及び破壊的な漁業慣行を終了し、科学的な管理計画を実施する。
- 14.7 2030年までに、漁業、水産養殖及び観光の持続可能な管理などを通じ、小島嶼開発途上国及び後発開発途上国の海洋資源の持続的な利用による経済的便益を増大させる。
- 14.b 小規模・沿岸零細漁業者に対し、海洋資源及び市場へのアクセスを提供する。

(説明)

フィリピンのセブ・ボホール事業地の水産業に関与する人々は、近年の環境汚染やダイナマイト漁などの違法漁業、また大型漁船による大型漁獲の悪影響を受け続けてきました。漁業に関わる零細自営業者たちが組合を作り、組合として声をあげ、違法漁業撤廃や行政への通報に取り組むとともに、ごみ拾い活動やマンガローブの植林などを通して、少しずつ沿岸部の生物多様性を確保しようとしています。さらに、エコツアーなどを実施して、海の豊かさを一人でも多くの人に啓発し、ともに取り組む契機を提供しています。

【17 パートナーシップで目標を達成しよう】

- 17.16 全ての国々、特に開発途上国での持続可能な開発目標の達成を支援すべく、知識、専門的知見、技術及び資金源を動員、共有するマルチステークホルダー・パートナーシップによって補完しつつ、持続可能な開発のためのグローバル・パートナーシップを強化する。
- 17.17 さまざまなパートナーシップの経験や資源戦略を基にした、効果的な公的、官民、市民社会のパートナーシップを奨励・推進する。

(説明)

ハロハロでは、日本人とフィリピン人とがパートナーシップのもとに、グローバル課題に対して自分ごととして行動に移す機会を提供しており、今後もさらにその活動を活性化していこうとしています。地域住民の力だけでは変えられない地域のルールや専門性が必要な技術や資金的な問題に対して、民間企業や教育機関、行政、さらには国を超えた協力を巻き込んで活動することで、豊かなまちづくりを促進しています。

■質問事項 (全200文字以内厳守)

<p>質問1* (200文字以内)</p>	<p>活動を始めたきっかけを教えてください</p> <p>世界の貧困地域に生活する人々の現状を今同じ社会で起きていることと受け止められず、私自身がどう社会参加できるか分からなかった体験から、誰もがやりたい社会にむかって意欲的に参加できるきっかけを提供したいと思い活動を始めました。フィリピンでも日本でも、人々が豊かに働き生きる場を必要としている点には変わりなく、地域社会と世界への貢献という点から豊かさのシェアに挑戦しています。</p>
<p>質問2* (200文字以内)</p>	<p>この活動を通してどのような未来を実現したいと思っていますか(ビジョン)</p> <p>自分自身も豊かな社会を実現する一員であると感じ、一人一人がどう働き生きるかを考え実行する「人が主役の地域社会」を実現したいです。自分の行動が社会を変えることを体験し、グローバルな視点で豊かさを捉えられる人が増えることで、地域の中での多様なアクションが活性化し、企業・教育機関・行政との連携も促進され、地域と世界の新しい豊かさが構築されていくことを目指しています。</p>
<p>質問3* (200文字以内)</p>	<p>未来を実現するために今行っている具体的な活動をお答えください(アクション)</p> <p>生活の向上、教育、啓発の3事業を通じ、グローバルな視野をもってローカルで行動する人を育て、地域の活動グループを活性化し、ビジョン達成を目指しています。</p> <p>例えば、絶対的な貧困状況から教育機会を得て大学を卒業し就職したフィリピンの子どもの事例は、同地域のロールモデルになるだけでなく、日本の人々にとっても社会を変える事例を目の当たりにし、寄付や現場との交流などで応援/参加できる体験につながっています。</p>

<p>質問4* (200 文字以内)</p>	<p>あなたの行っている 活動は社会にどのような影響を与えていますか(インパクト)</p> <p>貧困や環境などの社会課題を見える化し、自分ごととして捉え行動する契機になっています。日本とフィリピンの意欲ある人々がともに課題に対して行動したことで、フィリピンの貧困地域では 10 年間の活動で、のべ 600 名以上の収入向上、のべ 500 名以上の幼児教育支援、のべ 50 名以上の高校大学教育支援、のべ 2,000 名以上の環境美化活動への参加に繋がり、貧困の解消、環境の改善が達成されています。</p>
<p>質問5 (200 文字以内)</p>	<p>あなたの考えるリーダーシップをお答えください</p> <p>リーダーシップとは主体的に考え行動し、人を巻き込む力だと思います。一人で物事を達成するのではなく、必要なステークホルダーを巻き込む共有力が重要だと認識します。またリーダー一人だけに必要な力ではなく、子どもから大人まで多様な社会の構成員 1 人 1 人が、主体性、行動力、分析力、協調性などのリーダーシップを発揮することで、所属する活動グループが活性化し、地域社会も世界も豊かになると思います。</p>

■推薦者情報 推薦者がいる場合のみ記入

<p>ブロック名*</p>	<p>神奈川ブロック</p>
<p>青年会議所名*</p>	<p>(一社)横浜青年会議所</p>
<p>担当役職*</p>	<p>ブランド戦略委員会 副委員長</p>
<p>担当者氏名*</p>	<p>伊澤 利晃</p>
<p>フリガナ*</p>	<p>イザワ トシアキ</p>
<p>推薦理由* (200 文字以内)</p>	<p>フィリピンへ実際に赴いて現地住民とパートナーシップを築き、持続的に自立できる仕組みづくりを援助することによって、住民達の暮らしを生き生きと輝かせ、貧困の連鎖のストッパーとなっている。 また、漁業組合への融資は成功体験として近隣の組合へ伝播し、徐々に広がりを見せている。 これらの事業が軌道に乗った暁には他の国へ事業を拡大させ、やがて世界中で豊かさを共有できる仕組みの創造を目指している為推薦致します。</p>